

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/26		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587060502	科目番号 / Course code	05870605
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15541_005		
授業科目名 / Course title	社会と文化の多様性 (宗教から見たアジア) / Understanding Asia Through Religion		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	伍 嘉誠, 東 史彦 / Fumihiko Azuma		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	伍 嘉誠		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	伍 嘉誠		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ngkashing nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟5階助教室		
担当教員TEL/Tel	ngkashing nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金2 (要事前連絡)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	アジアでは歴史上、様々な宗教が実践されてきた。特に、同地域では、グローバル化による社会変容に伴い、顕著に宗教の移動、越境、相互作用、創生が活発化しており、宗教実践のあり方も多様化・多角化している。本講義では、「宗教」を鍵概念として、日本、韓国、中国および香港、台湾等の具体的な事例を用いながら、アジア社会における宗教文化を理解することを目的とする。宗教社会学の基本的な考え方、研究対象、研究手法も取り上げる。		
授業到達目標/Course goals	本授業アジア社会において実践されてきた様々な宗教について理解することを目標とする。様々な事例を学ぶことによって、アジアにおける宗教の多様性について広範な視点から比較し、考察できるようになる (?@?G?J)。また、宗教と社会との関係について説明できるようになる (?D)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	内容理解確認小テスト (2点 x 15回=30点) 小レポート (20%) 最終レポート (50%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	講義の内容をしっかりと把握するため、予習と復習を重視する。		
キーワード / Keywords	宗教、社会、文化		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書は指定しない。参考書については講義中適宜指示する。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	「宗教」は、ある社会の歴史・文化・制度・政治の変動を理解する重要なカギです。アジア社会で様々な実践される宗教文化について一緒に考えましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
	なぜ宗教を学ぶのか?
	宗教文化の諸相? 「薄い宗教」と「濃い宗教」
	日本?@?日本人は「無宗教」なのか?
	日本?A?意識調査からみた日本人の宗教観
	中国大陸?@?共産党政権下における宗教
	中国大陸?A?宗教の「三色市場」
	台湾?@?「土地公」信仰
	台湾?A?尼僧と女性の仏教実践
	香港?@?宗教と社会福祉
	香港?A?キリスト教と「雨傘運動」
	韓国?@?伝統社会と宗教
	韓国?A?キリスト教と民主化運動
	越境する宗教文化
	「しあわせ」の宗教学ー現代社会における宗教とウェルビーイング
	まとめ

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2019/11/27 ~ 2020/02/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587060702	科目番号 / Course code	05870607
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15551_005		
授業科目名 / Course title	社会と文化の多様性 (世界のことばの多様性) / The World's Linguistic Diversity		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	TOET RUDY, 東 史彦 / Fumihiko Azuma		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	TOET RUDY		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	TOET RUDY		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	rudytoet nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟5階助教室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の直後またはメールにて質問を受け付ける。メールによりアポイントメントを取ることもできる。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	音声学・音韻論(発音)、形態論・統語論(文法)、語用論・社会言語学の各観点から、世界の各言語に見られる様々な表現の仕方について考察する。日本語や英語の比較的身近な言語から聞いたことすらない言語まで幅広く見ていき、ヒトを特徴づける「ことば」というものの多様性に驚きながら、その表面の下にある人間の普遍性を示唆する側面も探る。また、他言語に見られる特徴が、日本共通語・標準語には見られないが、長崎方言(九州方言)には見られるなどのようなケースを通じて、世界のことばの多様性のみならず日本のことばの多様性についても理解を深め、地元のことばを考える機会ともする。学生の英語などの外国語学習に対する刺激になることも狙いの一つである。		
授業到達目標/Course goals	1. 世界の各言語のどの側面がどのように異なり得るか、そしてどのような普遍的な側面があるかを理解し、説明できるようになる(??G?J)。 2. 自分の使うことば・地元のことばの特徴を把握し、世界のことばの多様性の中に位置づけることができるようになる(??G?J)。 3. 英語などの外国語学習において取り組むべき要素を新たに見付け、その方法を考えることができるようになる(?A?I)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 授業で得た知識を活用して、外国語学習において取り組むべき要素を主体的に確認する活動 F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み?30点 内容理解確認小テスト(平均点数)?20点 提出課題(平均点数)?20点 定期試験?30点 合計100点の内60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法 )/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	定期的に授業の内容に対する学生の理解を確認するための小テストを実施する。また、数回、異なる言語のある特徴を比較する小レポートの提出を求める。定期試験も実施する。		
キーワード/Keywords	世界の各言語の音声学・音韻論・形態論・統語論・語用論・社会言語学、長崎県・九州地方の方言		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しない。授業で適宜に資料を配布する。		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites	特になし
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) / Remarks (URL)	
学生へのメッセージ / Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents
第1?2回 (12月3日3?4時限)	オリエンテーションに加えて世界の各言語について概説する。
第3?4回 (12月10日3?4時限)	音声学の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第5?6回 (12月17日3?4時限)	音韻論の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第7?8回 (1月7日3?4時限)	形態論の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第9?10回 (1月14日3?4時限)	統語論の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第11?12回 (1月21日3?4時限)	語用論の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第13?14回 (1月28日3?4時限)	社会言語学の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第15回 (2月4日3時限)	第14回まで扱った内容をまとめる。
第16回 (2月4日4時限)	定期試験を実施する。

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/06/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587507702	科目番号 / Course code	05875077
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15731_005		
授業科目名 / Course title	社会と文化の多様性 (世界の中のヨーロッパ) / European Studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	東 史彦 / Fumihiko Azuma		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	東 史彦 / Fumihiko Azuma		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	東 史彦 / Fumihiko Azuma		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医学部・歯学部・工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fazuma nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟11階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時 (要事前予約)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ヨーロッパは、国家間で物、人、サービス、資本が自由に移動できたり、共通の人権規範が適用されたりする領域を創設しており、世界でもっとも地域統合が進んでいる地域となっている。本講義では、ヨーロッパの国家間における物・人の自由移動のルール・事例と、一般的な国家間における物・人の移動のルール・事例とを比較する。		
授業到達目標/Course goals	ヨーロッパで行われている地域統合が、世界やその他の地域で行われている統合の動きとどのように異なる特徴を備えているのかを理解し、将来の日本・アジア地域の方向性について考えることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	出席 (15%)、試験 (85%) に依りますが、積極的な受講態度による加点と、私語による減点があります。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事後学習を行ってください。講義資料 (レジュメ、ノート) を見返し、重要な点は何だったか、疑問点がないかを確認してください。疑問が解けない場合、講師に質問してください。		
キーワード/Keywords	EU法、国際法、国際経済法、国際人権法、憲法		
教科書・教材・参考書/Materials	レジュメをもとに講義を行います。教科書指定はありません。参考書は適宜講義時に紹介します。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	法律の未修者でも理解できるようにしますので、特に受講要件はありません。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	世界中でグローバル化や地域統合に反発する動きが高まっています。そのような中で、世界でもっとも地域統合が進んでいるヨーロッパを参考に、グローバル化や地域統合の意味を再確認してみてください。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	東 史彦/会計・庶務、広報補助、領事補助、邦人援護、儀典、翻訳・通訳、ロジスティクス、情報 収集、等/法学(派遣員業務を通じてイタリアで修得したイタリア法についての知見を教育内容に反 映している) / ミラノ日本国総領事館・派遣員
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回 (11月27日)	地域統合の段階： ...WTOによる貿易の自由化から、自由貿易協定 (FTA) 等の、経済統合の段階を比較し、EUによる地 域統合の位置づけを確認します。
第 2 回 (11月27日)	物の移動のルール?@： ...日本およびEUと関税との関係を規律するGATTのルールと、EUのルールを比較します。
第 3 回 (12月4日)	物の移動のルール?A： ...日本とGATTの内国民待遇原則、およびEUの差別的国内税の禁止のルールを比較します。
第 4 回 (12月4日)	物の移動のルール?B： ...日本とEUにおける数量制限の禁止を規定するGATTとEUのルールを比較します。
第 5 回 (12月11日)	物の移動のルール?C： ...日本とEUにおける差別的措置および数量制限と同等の効果を有する措置に対するGATTとEUのル ールを比較します。
第 6 回 (12月11日)	物の移動のルール?D： ...日本とEUにおける貿易障壁とその正当化の關係に関するGATTとEUのルールを比較します。
第 7 回 (12月18日)	国際法 (WTO法) とEU法の違い： ...日本におけるWTO法と、EUにおけるEU法がどのように適用されるのかを比較します。
第 8 回 (12月18日)	人の移動のルール?@： ...日本を含む、一般的な国家間の人の移動のルールを確認します。
第 9 回 (1月8日)	人の移動のルール?A： ...日本を含む、一般的な国家における外国人の扱いのルールを確認します。
第10回 (1月8日)	人の移動のルール?B： ...EUによる国境管理と人の移動のルールを確認します。
第11回 (1月22日)	人の移動のルール?C： ...EU加盟国間の人の自由移動のルールを確認します。
第12回 (1月22日)	人の移動のルール?D： ...日本とEU加盟国による難民の扱いの相違を確認します。
第13回 (1月29日)	世界の地域統合： ...EUのみならず、NAFTAやメルコスール等の地域統合について勉強します。
第14回 (1月29日)	TPP協定 (11) および日EU経済連携協定： ...TPP協定および日EUの経済連携協定についての内容について勉強し、その意義を考えます。
第15回 (2月5日)	定期試験